

大島・菊地組 決勝へ テニス男子複



高校総体 2016

喜帆、末野聡子両選手組が、女子シングルスでは、末野選手が準決勝で敗れて3位だった。

◇テニス◇

▽男子シングルス準々決勝
山尾(福岡) 7-6 6-2 大相生(相生)

▽男子ダブルス準決勝第2試合
柳川(大相生) 6-4 4-6 金大(相生)

▽女子シングルス準々決勝
大島(相生) 6-4 4-6 金子(相生)

▽女子ダブルス準々決勝
大島(相生) 6-4 4-6 金子(相生)

▽女子シングルス準決勝
末野(末野) 6-7 3-5 6 清(埼玉)

▽女子ダブルス準決勝
細木(末野) 6-7 3-5 6 末野(末野)

▽女子ダブルス準決勝第2試合
開星(末野) 6-4 4-6 末野(末野)

▽女子ダブルス準決勝第2試合
我那覇(末野) 6-6 3-0 末野(末野)

▽女子ダブルス準決勝第2試合
我那覇(末野) 6-6 3-0 末野(末野)

▽女子ダブルス準決勝第2試合
我那覇(末野) 6-6 3-0 末野(末野)

相生学院対決、明暗
テニス男子ダブルス準決勝で、相生学院同士の対戦が実現。4日の団体戦で優勝した同校は、ダブルスでも選手層の厚さを示した。

試合では、大野翼、金子拓矢両選手(ともに3年)組と、大島立暉(3年)、菊地裕太(2年)両選手組が対戦。県大会や近畿大会でも戦っており、いずれも大島・菊地両選手組が勝利している。

この日は、大野選手のサーブで崩し金子選手がポイントを決める得意の形で序盤をリード。だが、中盤から調子を取り戻した相手ペアに逆転負けを喫し、雪辱はならなかった。
金子選手は「手の内は知

全国高校総体(インターハイ)読売新聞社共催)は7日、岡山、島根、広島、山口各県の会場で、重量挙げやテニス、ソフトボール男子、なぎなたなどの競技が行われた。

県勢は、テニスの男子ダブルスで、相生学院のペア同士が準決勝を戦い、大島立暉、菊地裕太両選手組が、大野翼、金子拓矢両選手組をフルセットの末に破り、決勝に進出した。女子ダブルスでは、芦屋学園の浦上

っているので、ポジションを変えるなどしたが、相手は上手だった」と脱帽。大野選手は「2人には絶対優勝してほしい」とエールを送った。